

震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業 その4 ～東日本大震災・原子力祭額伝承館研修～

8月4日(木)、本校舎5名、遠野校舎3名の生徒が研修に参加しました。
午前中は館内の展示物の見学に加え、ガイドさんのお話を聞きながら震災について理解を深めました。午後は語り部さんのお話を聞いた後、実際に街中を目にしながらか震災当時のことや震災後の現状について見聞しました。



その後、今回の研修で学んだこと・気づいたこと・疑問に思ったことについて、グループで意見を共有しました。多くの意見が挙げられ、最後に今後自分たちがやり続けていきたいことについて一人ずつ発表し、理解を深め合うことができました。



「もし自分だったどうする？」

そのような視点から震災について知り・考え・それを周囲に伝えていくことの大切さを改めて実感した研修でした。今後学習したことを伝えていこう！生徒たちはそんな使命感を感じています。

両校舎共に震災に向き合い、共に未来を考える貴重な研修となりました。

私たちには何ができるか。福島県民の私たちだからできること。やらなければいけないこと。それぞれの心に課題が芽生えたようです。今後の若い力に期待が高まります。

さあ、ともに行こう。輝く未来に向かって、頑張り、いわき湯高生。

